

## 平成 24 年度の国民年金保険料について

- とあるおそば屋さんを営む夫婦とお店に来ていたお客さん（社会保険労務士）の会話です。



お父さん

今年の4月から、国民年金の保険料がひと月 14,980 円になったらしいよ。去年から 40 円下がったみたい。



お母さん

たしか、年を追うごとに徐々に保険料を上げていくことが平成 16 年に決まったはずなのに、どうしてなんだろう？



お客さん

よくご存じですね。

平成 16 年に法律が変わり、国民年金保険料は、毎年 280 円ずつ引き上がり、平成 24 年度はひと月 15,540 円となっています。



だったら、やっぱり 15,540 円じゃないの？



これは平成 16 年当時の価格です。この価格は、その後の物価や賃金の変動に応じて現在の価値に換算することとなっていますので、今年度はひと月 14,980 円となったのです。

※ 平成 24 年度の国民年金保険料は、平成 16 年度からの物価と賃金の変動率 0.964(マイナス 3.6%)を 15,540 円に乘じることにより、14,980 円となりました。



ここ最近は何物や賃金がすごく下がっているから、国民年金の保険料も下がっているのね。

でも、どうして、物価や賃金を基に今の価値に換算する必要があるのかしら？



研究熱心ですね！公的年金は、お年寄りの生活を保障するものなので、物価の上がり下がりに応じて年金額も上がり下がりするように調整されているんです。

その年金を支払うために納めているのが保険料だから、こちらも物価の動きにあわせて現在の価値に換算しなければならないんですよ。

※ 実際には、物価だけではなく現役世代の方の平均賃金の変動も考慮しています。



なにはともあれ、保険料が下がったのはよいことだな。うんうん。



そうなのかしら。物価もお給料も年金もみんな下がってるってことだし、このままだと何だか将来が不安な気がするわ・・・



お気持ちはわかります。もっと経済がよくなって若い人たちがお年寄りを支える力がどんどん強くなっていけば、将来がもっと安心になると思いますね。



たしかにそうですね。私もがんばって働かなくっちゃ。はいお待ちどうさま。

